


## 【背景・課題】

- ・ 佐渡市が保有する公共施設は、合併前10か市町村から、それぞれ整備されたものが、引き継がれています。
- ・ 公共施設の多くは、経年による施設の老朽化や設備・機能の低下が進んでいます。今後、大規模改修や更新が集中する時期を迎えることになります。
- ・ 少子高齢化、人口減少が進む中、全ての公共施設を現在の姿のまま維持し続けることは、市政経営に大きな負担となってきます。



**真に必要なサービス**にまで影響を及ぼしてしまう恐れがあります。



# 公共施設あり方検討会議について

## 【検討会議設置の趣旨】

公共施設を取り巻く現状と課題を市民と共有し、現役世代はもとより、次の世代が過度の負担を背負うことなく、安心して快適に暮らすことができる将来のまちづくり・地域づくりを見据えながら、公共施設適正配置の基本方針の策定に向けた議論を行うため、佐渡市公共施設あり方検討会議を開催する。（佐渡市公共施設あり方検討会議開催要綱 第1条）

👂 『佐渡市』として、今後の公共施設のあり方について、一緒に考えていきましょう。

## 【検討会議のゴール（目的）】

### 公共施設総合評価結果 （「たたき台」）

施設情報（稼働率、老朽度、収支状況）と立地状況（アクセス、防災、集積性）、各種計画との整合性等から分析を行い、専門的（建築、都市計画等）見地から総合的、客観的に評価を行ったもの

財産分類ごとに再編・再配置の方策について検討

- ・ 適正な施設数と必要な機能
- ・ 施設の効率的・効果的な利活用に向けた、管理主体（市か民間か）や管理手法（指定管理など）の見直し
- ・ 利用圏域を考慮した配置バランス

公共施設適正配置の基本方針

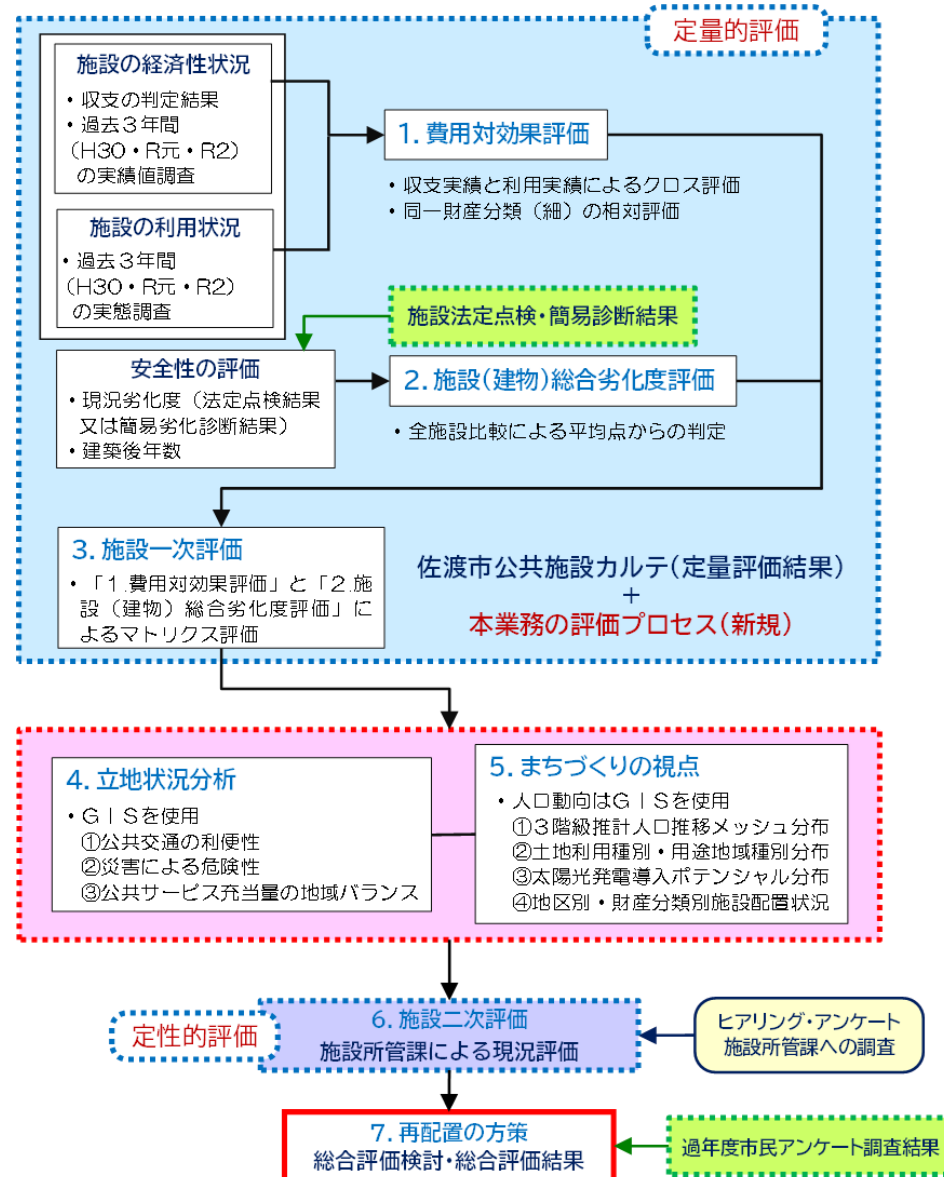
会議の意見を踏まえ、佐渡市が決定します。



# 今後の進め方について

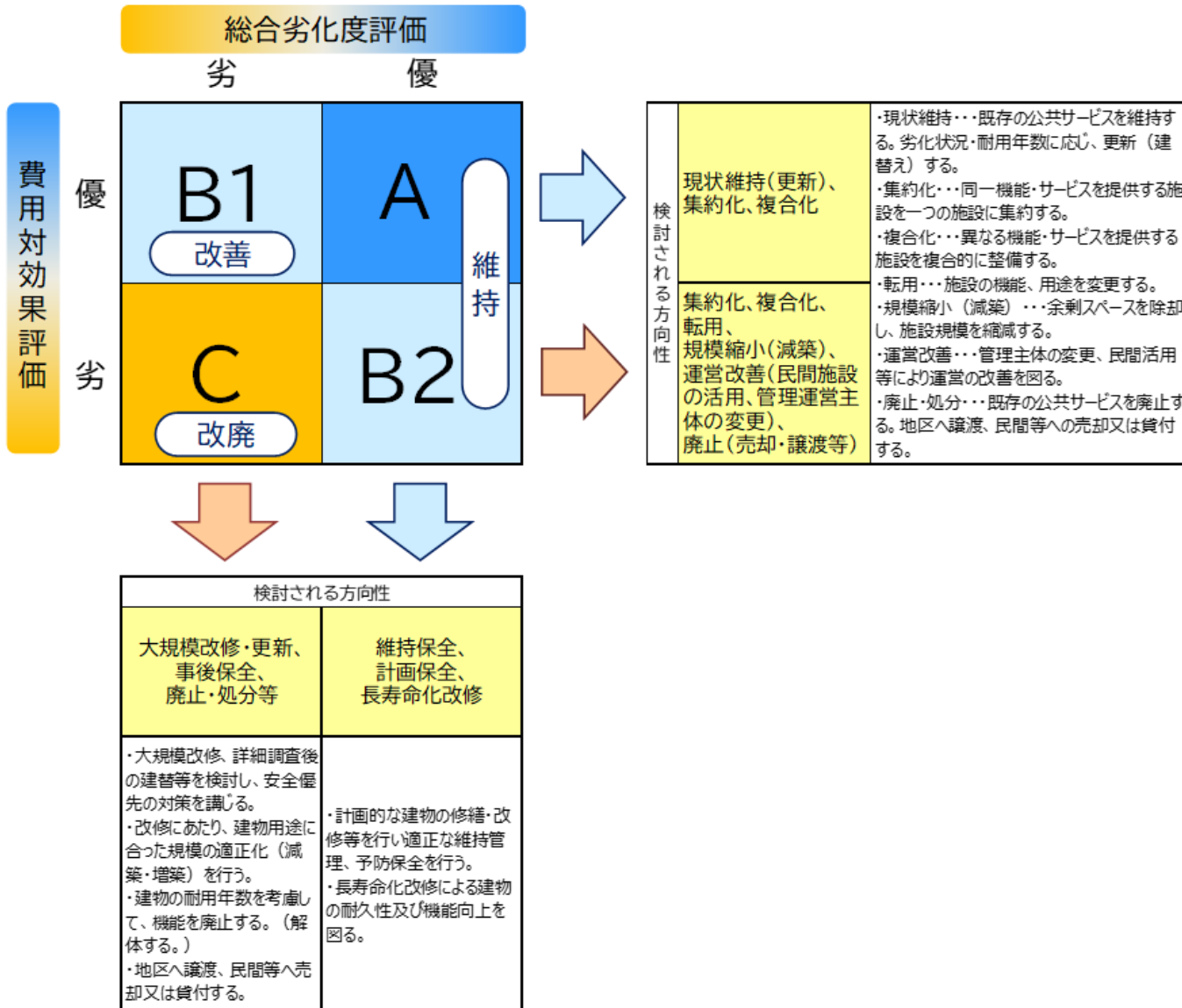
【総合評価結果について】： 施設情報（稼働率、老朽度、収支状況）と立地状況（アクセス、防災、集積性）、各種計画との整合性等から分析を行い、専門的（建築、都市計画等）見地から総合的、客観的に評価を行ったもの。

・ 評価フロー（報告書 p.11）



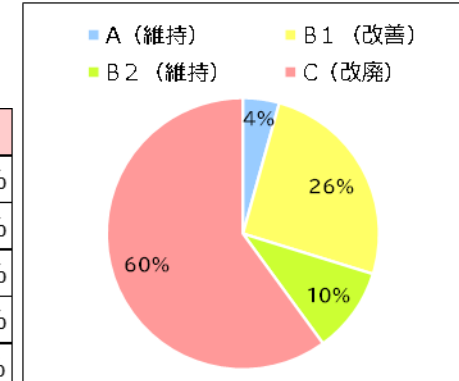
# 今後の進め方について【総合評価結果について】

- 施設一次評価の判定マトリクス（報告書 p.15）



- 対象施設の施設一次評価結果の内訳（報告書 p.17）

施設一次評価	評価数(棟数)	構成比
A(維持)	11	4.3%
B1(改善)	65	25.5%
B2(維持)	26	10.2%
C(改廃)	153	60.0%
合計	255	100.0%



# 再編・再配置の方策パターン

方策	内容	再編・再配置の方策パターン(イメージ) (現状) (将来)
集約化	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一機能の複数施設をより少ない施設規模や数になるよう一施設に集める。</li> <li>施設の稼働状況や全体業務の効率を踏まえて必要な機能を集めることが望ましい。</li> </ul>	
複合化	<ul style="list-style-type: none"> <li>余剰・余裕スペース等を活用し、建替え等に伴い、同一建物に異なる機能の施設と複合的に整備する。</li> <li>敷地の規模や立地等を踏まえて必要な機能を複合化する。</li> </ul>	
転用	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の転用可能な余剰部分に施設の改修を施して、異なる機能を導入する。</li> <li>施設の稼働状況の低下や空きスペースの増加を踏まえ、用途を転用する。</li> </ul>	
施設規模の縮小(減築)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能を維持しながら、建物の余剰スペースを除却して全体の延床面積を縮減。</li> <li>施設の稼働状況の低下や空きスペースの増加、他施設への用途転用が困難な場合等に減築する。</li> </ul>	

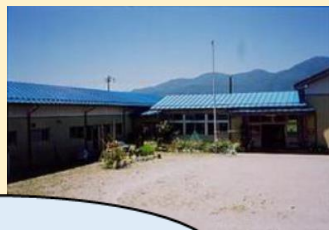
方策	内容	再編・再配置の方策パターン(イメージ) (現状) (将来)
民間施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の民間施設を借り上げて、公共サービスを提供する。</li> <li>該当する公共サービスを民間施設で提供可能な場合に活用する。</li> </ul>	
実施主体や管理運営主体の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>余剰スペースを民間等へ貸付し、貸付料収入を得る。</li> <li>事業の実施主体や管理運営主体を民間へ変更する。</li> <li>利用率の低い公有資産の有効活用等のため、民間資金、経営能力、技術的能力を活用する。</li> </ul>	
維持(更新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な修繕等を行いつつ、建物の機能を維持継続する。</li> <li>建物構造の耐用年数や劣化状況を踏まえ、更新(建替え)を行い、機能を維持する。</li> </ul>	
廃止(売却/譲渡/跡地活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通財産等の未利用施設等を廃止し、譲渡、売却、跡地活用等をする。</li> <li>集約化、複合化、市民ニーズの変化等により不要となった建物の有効活用のため、民間や地域の活力を活用する。</li> </ul>	



# 佐渡市での事例

## 集約化

湊保育園



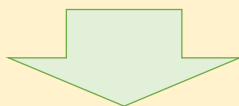
椎崎保育園

老朽化した複数の保育園

河崎保育園



両尾保育園



機能が充実した  
新しい保育園



両津東保育園

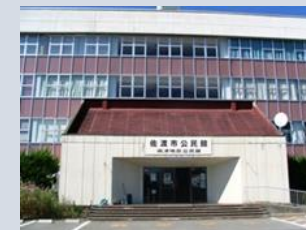
## 複合化

支所



両津支所

公民館

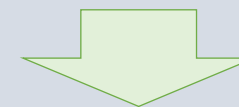


両津公民館

図書館



両津図書館



支所・公民館・図書館等の  
複合施設



両津支所

